

令和4年度の重点課題

5年生男子 DE判定 22% 女子 DE判定 24%男子の全国平均を上回った種目 長座体前屈, 20mシャトルラン, 50m走, 女子の全国平均を上回った種目は, 20mシャトルラン, 50m走, ボール投げであった。
男女ともに全国平均を下回っている種目は, 握力, 上体起こし, 立ち幅跳びであった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

運動場での体育の時間の開始時に, 遊具を使ったサーキットトレーニングに継続して取り組み, 身体感覚を育てる。特に, 鉄棒に継続して取り組み, 逆上がりができる児童の割合を70%以上を目指して取り組んだ。結果は, 全校の52%であった。
また, 体育科の時間に縄跳びを継続して取り組んだ。二重跳びが1回以上できる児童の割合を70%以上を目指して取り組んだ。結果は, 64%であった。令和5年度も鉄棒と縄跳びを継続して取り組み, 逆上がり, 二重跳びができる児童を増やすことで, 体幹を鍛え, 基礎体力を高める。また, 継続して運動に取り組む良さを感じ, 進んで運動に取り組む意欲を育む。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.89	20.78	34.00	43.56	56.65	9.31	152.85	23.63	55.76	第5学年	15.00	19.78	39.90	41.18	42.42	9.39	141.95	14.16	57.49

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.89	20.78	34.00	43.56	56.65	9.31	152.85	23.63	55.76	第5学年	15.00	19.78	39.90	41.18	42.42	9.39	141.95	14.16	57.49

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	64.00	32.00	4.00	0.00	第5学年	50.00	31.58	15.79	2.63

学校独自の意識調査



重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

今年度も, 基礎体力, 感覚づくりとして, なわとび, 鉄棒を継続することに取り組む。1年間継続して取り組むことで, 体力の向上となわとび, 鉄棒の技能の向上につなげるとともに, 二重跳び, 逆上がりが全校児童の70%以上できるようにする。また, 朝のリズム運動など体幹や柔軟系の動きも継続して取り入れ, 児童の基礎体力を育てる。

体育の授業以外で行う取組内容

外遊びを奨励し, 児童の運動量の保障につなげる。
鉄棒カード, 縄跳びカードを配付し, 全校児童の縄跳び, 鉄棒への意欲を高める。
体育集会で縄跳びを全校で取り組み, 縄跳びへの意欲を高める。

重点課題

情意面での課題

5年生男子 運動やスポーツをすることが, やや嫌い4% 嫌い 0%
5年生女子 運動やスポーツをすることが, やや嫌い15.79% 嫌い2.63%
5年生全体 運動やスポーツをすることが, やや嫌い11.89% 嫌い1.31%である。
昨年度との比較 男子 +0.55% 女子 -1.18% 今後, さらに運動が好きな児童を増やしていくために, 体育科の授業や体力づくり運動を通して, 児童の成功体験を増やしていく必要がある。

体力面での課題

今年度, DE判定の児童は, 5年生全体の17.9%である。昨年度と比較すると, 7%減少している。
令和3年度の全国平均を下回ったのは, 握力と立ち幅跳びだけである。鉄棒, 縄跳びを継続すること, 走る運動量を増やし, 体力の向上につなげたい。

令和6年度の重点目標値

握力を全国平均以上にする。
立ち幅跳びを全国平均以上にする。